

作成日 2025 年 4 月 7 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5210

課題名 : 「切除不能・再発食道癌に対する免疫チェックポイント阻害薬の効果予測」

1. 研究の対象

2022 年 1 月～2024 年 12 月に当院において食道癌の化学療法を行なった方

2. 研究期間

2025 年 5 月 1 日～2026 年 12 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2025 年 5 月 1 日

提供開始予定日 : 該当なし

4. 研究目的

切除不能進行・再発食道癌では、免疫チェックポイント阻害薬を含んだ抗がん剤治療が推奨されています。好中球リンパ球比(NLR)、血清アルブミン(ALB)、乳酸デヒドロゲナーゼ(LDH)によって算出される Gustave Rousy 免疫スコア(GRIm-score)は、免疫チェックポイント阻害薬の治療効果を予測する因子として有用であることが知られています。本研究では、免疫チェックポイント阻害薬療法における食道癌患者の GRIm-score が病気の予後を予測する因子として有用であるかを検討することを目的とします。

5. 研究方法

2022 年 1 月～2024 年 12 月に当科において、食道癌に対する化学療法を行った方を対象といたします。カルテから採血結果を参照し、GRIm-score が低い方と高い方に分類して、治療効果、好中球の推移やその他の副作用の発症頻度について検討します。

したがって、さらなる検査や受診などの必要はありません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 入院時身体所見、採血検査結果、病理学的結果、臨床経過など

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反(企業等との利害関係)について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は講座研究費です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院外科 矢口義久

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 2356） 電話対応時間 9 時～16 時

y-yaguchi@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部 辻本広紀